

第4節 健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課は、福祉・こども担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当で編成されている。

福祉・こども担当の主な分掌事務は、福祉に係る全般的窓口として、各種福祉サービスの申請受付及び手当等の支給や民生委員児童委員に関すること、日本赤十字に関すること、障がい福祉に関することであり、福祉全般にわたる相談を行い、相談者のニーズに合った福祉サービスが提供できるよう、きめ細やかな対応に努めた。

また、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行い、放課後児童健全育成事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行い、その入会等の受付業務を行った。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、配食サービス事業等を実施した。また、高齢者福祉関係としては、軽度生活援助員派遣事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当及び紙おむつ購入費助成等の生活支援事業や介護予防を実施した。さらに、介護保険関係としては、要介護（要支援）認定申請及び介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持、生活の安定等のため包括的支援事業等を実施した。そのほか、高齢者ふれあい相談員が、ひとり暮らしや高齢世帯を定期的に訪問し、安否の確認等を実施した。

健康増進担当では、感染症のまん延防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種を実施した。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施した。さらに、各種がん検診、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診等を実施した。母子保健事業では、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、各種教室、子育て相談及び中学校において思春期講演会を実施した。健康づくり事業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する健康相談及び健康教育事業を実施した。

福祉・こども担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員28人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員2人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況

(単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
115	5	12	45	4	14

年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
0	78	21	665	959	34.3

(2) 調査等状況

(単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的 機関との連絡	諸会合・行事 への参加	友愛訪問・安否 確認のための訪問	計	委員1人 当たり件数
1,015	42	526	2,458	5,694	9,735	347.7

2 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1) 日赤募金

目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)
1,188,600	1,237,900	104.1

(2) 災害による救援品配布状況

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
突風	1世帯	5人	—	—	2個

(3) 災害見舞金給付状況

(単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
—	—	—	—	—

(4) 講習会等

	実施回数(回)	参加者数(人)
実績なし	—	—

3 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るため、都賀地域活動支援センターの管理運営を栃木市社会福祉協議会に委託(指定管理)した。

- ・施設名 都賀地域活動支援センター
- ・所在地 都賀町家中2357
- ・開所日数 246日
- ・通所延べ人員 985人

4 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

(単位：人)

区分	実施状況
	257
交付者数	うち高齢者(80歳以上)
	165

	高齢者(65～79歳)	29
	障がい者	42
	腎臓機能障がい者	21

5 身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況）（単位：人）

障がい区分	手帳所持者数	平成26年度中交付者数
視覚障がい	27	2
聴覚・平衡障がい	52	6
音声・言語・そしゃく障がい	4	-
肢体不自由障がい	240	15
内部障がい	129	12
複合障がい	14	2
合計	466	37

6 知的障がい者（児）の現況（療育手帳交付者数）（単位：人）

区分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合計
	男	女	男	女	
重度（A1・A2）	-	6	21	20	47
中度（B1）	3	3	11	8	25
軽度（B2）	5	6	7	2	20
合計	8	15	39	30	92

7 精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況（精神障害者保健福祉手帳交付者数）

区分	交付者数(人)	比率(%)
1 級	15	29.4
2 級	26	51.0
3 級	10	19.6
合計	51	100

(2) 自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、140人が受給した。

8 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理

（単位：件）

区分	身体障がい者			身体障がい児		
	交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢 義手	-	-	-	-	-	-

義肢	義 足	-	-	-	-	-	-
装 具	下 肢	5	-	5	-	-	-
	靴 型	-	1	1	-	-	-
	体 幹	-	-	-	-	-	-
	上 肢	-	-	-	-	-	-
座 位 保 持 装 置		-	-	-	-	1	1
盲 人 安 全 つ え		3	-	3	-	-	-
義 眼		-	-	-	-	-	-
眼 鏡	矯 正 眼 鏡	-	-	-	-	-	-
	遮 光 眼 鏡	-	-	-	-	-	-
	弱 視 眼 鏡	-	-	-	-	-	-
補 聴 器	高度難聴用ポケット型	-	-	-	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	4	2	6	-	-	-
	重度難聴用ポケット型	-	-	-	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	3	-	3	-	-	-
車椅子	普 通 型	1	2	3	-	2	2
	そ の 他	1	-	1	-	-	-
電 動 車 椅 子		-	-	-	1	-	1
起 立 保 持 具		-	-	-	-	-	-
座 位 保 持 椅 子		-	-	-	-	-	-
歩 行 器		-	1	1	-	-	-
歩 行 補 助 つ え		-	-	-	-	-	-
重度障がい者用意思伝達装置		-	-	-	-	-	-
特 例 補 装 具		-	-	-	-	-	-
合 計		17	6	23	1	3	4

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付 (単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	-	-
特 殊 マ ッ ト	-	-
特 殊 尿 器	-	-
移 動 用 リ フ ト	-	-
訓 練 い す	-	-
入 浴 補 助 用 具	-	-
洗 浄 機 能 付 き 便 座	1	-
体 位 変 換 器	-	-
便 器	-	-
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	-	-

移動・移乗支援用具	-	-
頭 部 保 護 帽	1	-
特 殊 便 器	-	-
火 災 警 報 器	-	-
自 動 消 火 器	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	-	-
透 析 液 加 温 器	-	-
ネ ブ ラ イ ザ ー	1	-
電 気 式 た ん 吸 引 器	-	-
パ ル ス オ キ シ メ ー タ ー	1	-
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	-	-
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	1	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	-	-
視 覚 障 が い 者 用 拡 大 読 書 器	-	-
盲 人 用 時 計	2	-
盲 人 用 体 温 計	-	-
盲 人 用 体 重 計	1	-
点 字 デ ィ ス プ レ イ	-	-
聴覚障がい者用通信装置	-	-
聴覚障がい者用情報受信装置	-	-
人 工 喉 頭	-	-
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	1	-
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	-	-
点 字 図 書	-	-
ス ト マ 用 装 具	26	-
紙 お む つ	5	1
収 尿 器	1	-
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	-	-
合 計	41	1

9 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

（単位：件）

種 別	給付決定件数
視 覚 障 が い	-
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	-

音声・言語・そしゃく機能障がい	-
免疫機能障がい	-
肢体不自由	-
肝臓機能障がい	1
心臓機能障がい	6
腎臓機能障がい	33
合計	40

10 身体障がい児の自立支援医療（育成医療）給付決定の状況

（単位：件）

種 別	給付決定件数
視 覚 障 がい	-
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 がい	-
音声・言語・そしゃく機能障がい	1
免疫機能障がい	-
肢体不自由	2
心臓機能障がい	1
腎臓機能障がい	-
合計	4

11 各種手当の状況

（単位：件）

種 別	給付決定件数	
特定疾患介護手当	12	
重度心身障がい児扶養手当	-	
特別障がい者 等手当	特別障がい者手当	-
	障がい児福祉手当	-
	福祉手当（経過的）	-
特別児童扶養手当	1	

12 障害者相談支援事業

都賀総合支所においては、健康福祉課の職員が直接障がい者の相談支援を行った。

13 身体障がい者等福祉関係

知的障がい者の自立更生について、1人の知的障がい者相談員が相談指導に当たった。

14 放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的とした学童保育利用の相談及び申請受付事務を行った。

(都賀地域は3か所の小学校区で3学童保育)

15 児童手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に支給した。

・児童手当受付件数 106件

16 赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、第2子以降のお子さんが誕生した、市内に住所を有する保護者からの赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

(単位：件)

事業名	祝金額	受付件数
赤ちゃん誕生祝金事業	第2子 10,000円	28
	第3子以降 20,000円	17

17 児童扶養手当・遺児手当

児童の健全な育成及び福祉の増進を図るため、父母の離婚や死亡などによって片親と生計を同じくしていない児童、または片親が重度の障害の状態にある児童について児童扶養手当、父母の一方または両方が死亡した児童について遺児手当の案内・相談・受付を行った。

(単位：件)

種別	受付件数
児童扶養手当	6
遺児手当	-

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口

(4月1日現在)

区分	年度		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
総人口(人)	13,479	13,443	13,307
65歳以上人口(人)	3,262	3,363	3,493
総人口に対する割合(%)	24.20	25.02	26.25

※外国人を含む人口

(2) 高齢者生活態様

(5～6月調査結果)

高齢者人口		人数(人)	比率(%)
総数		3,493	100
内 訳	独居	287	8.2
	高齢者世帯※ (世帯数)	653 (317)	18.7
	その他	2,553	73.1

※ 65歳以上のみで構成される世帯

2 敬老祝賀事業

9月1日(基準日)において本市に引続き1年以上居住し、当該年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせ敬老祝金を贈呈した。

95歳以下の方への配布は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	93
90歳	20,000	61
95歳	30,000	13
100歳	100,000	1
101歳以上	50,000	3

3 敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の80歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

- ・補助金交付自治会等 31自治会等
- ・補助金額 1,137,000円※本庁高齢福祉課予算

4 老人クラブ育成支援

老人クラブ連合会都賀支部の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導支援を行った。

- ・単位老人クラブ数(都賀地域) 23クラブ
- ・老人クラブ連合会都賀支部会員数 719人
- ・助成額 単位老人クラブ助成 1,018,000円※本庁高齢福祉課予算

5 老人スポーツ大会

老人クラブ連合会都賀支部主催(事務局:栃木市社会福祉協議会都賀支所)で老人スポーツ大会を開催した。個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。

- ・実施日 10月10日(金)
- ・会場 都賀体育センター
- ・参加人員 431人

6 高齢者配食サービス事業

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、昼食弁当（1食300円）を宅配し、併せて安否確認も行った。

- ・対象者 65歳以上の一人暮らし世帯または高齢者世帯、これに準ずる世帯で調理困難な方
- ・宅配個数 3,282個
- ・宅配人数 41人（実人数）
- ・宅配業者 (株)金時給食センター 柳橋町6-29
(福)スイートホーム 都賀町原宿1424-1

7 日常生活用具購入費助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・日常生活用具購入費助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
老人福祉車	22
小型暖房器具	-
電磁調理器	-
火災警報器	-
自動消火器	-

8 日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成した。

- ・日常生活用具レンタル料助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
電動小型吸引機	3
特殊寝台	2
じょく瘡予防用具	-

9 緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況

(単位：台)

既設置台数	平成 26 年度設置台数	平成 26 年度撤去台数	計
54	7	8	53

10 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数（延べ人数） (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
140	147	287

11 紙おむつ購入費助成事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された方で、日常生活において、常時紙おむつが必要な方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数（延べ人数） (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
129	139	268

12 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣事業

- ・利用者数 -人
- ・延べ回数 -回 (-時間)

(2) 軽度生活援助員派遣事業

- ・利用者数 8人
- ・延べ利用時間数 (単位：時間)

家事	39
除草	43
植木手入れ	72
大工	-

13 健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成事業

健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成券

高齢者の健康保持や健康寿命延伸を目的に、はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧施術料助成券を配付し、施術料の一部について助成した。

- ・事業対象者 市内在住で満75歳以上の方
- ・助成券概要 5枚綴、1枚につき800円の助成

- ・ 配付実績 21 冊
- ・ 利用実績 21 枚

14 都賀老人憩いの家白寿荘

都賀老人憩いの家白寿荘の清掃等管理業務を、栃木市シルバー人材センター（都賀支所）に委託して実施した。

- ・ 年度中利用者数 (単位：人)

年度 区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者	1,408	1,032	1,126

- ・ 開館日数 241日
- ・ 利用者 主に 60 歳以上の高齢者・高齢者の趣味活動グループ

15 介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。 (単位：件)

内 容	件数
要介護（要支援）認定申請 相談・受付・入力	397
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	7
介護給付費過誤申立 受付	-
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	7
転入・転出・転居 資格管理等	1
転送希望届申請 受付・入力	-
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	102
短期入所の 30 日を超える連続利用申請 受付	6
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付	1
軽度者に対する福祉用具貸与の取扱いの特例に関する確認申請 受付	-
福祉用具購入費支給申請 受付	11
住宅改修費支給申請 受付	13
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	33
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	101
障がい者控除対象者認定申請 受付	14
オムツ使用証明申請 受付	-
介護保険事業者事故報告 受付	-

16 任意事業

家族介護支援事業

生活・介護支援サポーター養成研修

地域で高齢者の生活を支える基盤を整備する目的により、社会福祉法人スイートホームに委託して実施した。

- ・実施期間 2月23日(月)～3月9日(月)
- ・受講者 10人

17 高齢者相談支援状況

介護高齢担当を窓口とする高齢者の各種相談に応じた。

(単位：件)

区分	件数	実件数	延べ件数
面接		215	235
電話相談			275
家庭訪問		24	24
連絡調整			72

18 地域包括支援センター事業

(1) 地域包括支援センター設置状況

名称：都賀地域包括支援センター 都賀町家中 5982-1 (都賀総合支所内)

(2) 介護予防事業

ア 二次予防事業

(ア) 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

- ・二次予防事業対象者把握状況 (単位：人)

基本チェックリストによる対象者数	255
訪問等により把握した対象者数	23
合計	278

(イ) 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上および対象者の身体状況に合わせたプログラムも取り入れた教室を実施し、自立した生活の確立と自己実現の支援を行った。

- ・実施状況

	開催回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	12	280

複合型機能向上	20	225
合 計	32	505

イ 一次予防事業

(7) 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

a 健康教育・介護予防講演会

一次予防事業対象者に対して、自治会・民生委員・老人クラブの主催で、健康教育の一環として「おたっしや教室」を実施した。

また、介護予防講演会では、介護予防の必要性を理解し、自主的に介護予防に取り組む動機付けとし、自立した生きがいのある生活が送れることを目標に実施した。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	90	1,365
普及啓発	12	667
栄養改善	9	136
認知症予防	9	136
その他	2	17
合 計	122	2,321

b 祝敬老《長生きの秘訣セット》配付

9月の敬老月間に合わせて、65歳及び70歳の高齢者に祝敬老《長生きの秘訣セット》を配付し、活動的な生活が送れるよう啓発した。

・配付物

パンフレット「イキイキとした生活を送るために」地域包括支援センターよりのお知らせ

冊子「転倒⇒骨折 予防体操」

介護予防カレンダー「介護予防いきいき体操」

(イ) 地域介護予防活動支援事業

a ますます元気サポーター養成講座と活動

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、都賀・西方合同で地域福祉や介護予防の知識の習得、サポーター間の情報収集や交流がでいる機会を設け、地域活動の人材育成や支援を行った。

ますます元気サポーター養成講座修了後は、都賀・西方各地域教室のサポーターとして、血圧測定や運動補助、参加者の見守り等を実施してもらった。

・実施状況（都賀・西方地域包括支援センター合同で開催）

	回数(回)	延べ人数(人)
ますます元気サポーター養成講座	5	65
ますます元気サポータースキルアップ	9	98

ますます元気サポーター視察研修	1	15
ますます元気サポーター全体会	3	18
ますます元気サポーター打合せ	1	11
合 計	19	207

・活動状況(都賀地域)

	回数(回)	延べ人数(人)
ますます元気サポーター活動状況	62	155

b 認知症サポーター養成講座及び地区組織活動支援

認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」養成を、高齢者及び自治会・中学生等に対し実施した。また、地区組織活動では、民生委員等との連携を強化した。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
地区組織活動支援	7	155
認知症サポーター養成講座	13	276
合 計	20	431

(3) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者が要支援状態等となることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等が包括的効率的に実施されるよう支援した。また、要支援状態等となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・実施状況

	件数(件)	
二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況	73	
要支援者の介護予防サービス計画作成状況	地域包括支援センター作成	18
	事業所委託	44
	合 計	62
サービス担当者会議実施状況	54	
住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況	6	

イ 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身の状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況

	延べ件数(件)
面 接	57
電話相談	404
家庭訪問	294
合 計	755

ウ 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、高齢福祉担当と地域包括支援センターが連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

・実施状況

	件数(件)
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	44
高齢者虐待に関すること	12
権利擁護に関するケース会議	10
合 計	66

エ 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における多職種連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

・ケアマネジャー連絡会（年3回）

(4) 任意事業

ア 高齢者ふれあい相談員事業

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

・訪問世帯数 396世帯

・相談員数 64人

イ はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちなのひとり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図った。

・事業実施者 自治会等

・利用対象者 都賀地域に居住するおおむね65歳以上の方

・実施施設 地域の公民館・集会場・広場等

・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、

高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等

- ・事業実施団体数 8センター（8自治会）
- ・委託料 1,490,000円
- ・実施回数 延べ 966回
- ・利用者数 延べ 10,353人

健康増進担当

1 健康増進計画推進事業

6つの重点領域（①栄養・食生活②身体活動・運動③喫煙④こころの健康⑤歯と口の健康⑥健康診査・検診）ごとに、ライフステージ別、関係機関別に取り組みを行い、関係機関と連携し健康づくりを推進した。

主な取組

- ・妊産婦や乳幼児がいる家庭への受動喫煙の害等の啓発
- ・子育て支援センターにおいて食育教室の開催
- ・乳幼児健診、集団健診等において健康情報の提供
- ・運動の必要性の理解を深めるために運動教室の開催
- ・健康まつりにおいて歯のと口の健康の普及啓発

2 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした者等に対して、窓口において母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

- ・受理及び交付状況 (単位：件)

妊娠届出数	母子健康手帳交付数		
	妊娠届出	双胎	紛失等
76	78	76	1

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査（数値は、本庁健康増進課で一括計上）

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施）

イ 妊婦歯科健康診査（数値は、本庁健康増進課で一括計上）

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	12	84	83	98.8	11	4	1	1
乳児健康診査 (9か月児)	12	94	94	100	13	5	1	5
1歳6か月児 健康診査	4	102	100	98.0	27	3	4	3
3歳児 健康診査	4	81	78	96.3	23	6	4	5

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によりブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

(7) 歯科健康診査

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数(人)	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
4	110	100	90.9	2 (2.0%)

(イ) 保健師による2歳児育児相談

参加者延べ人数 100人

オ 乳幼児発達相談(二次健診)(数値は、本庁健康増進課で計上)

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において発達に問題があると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、乳幼児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

カ 乳児先天性股関節脱臼検診(数値は、本庁健康増進課で一括計上)

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

(3) 健康教育

ア 両親(母親)教室(数値は、本庁健康増進課で計上)

妊婦と夫及び妊婦の支援者に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、お風呂の入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃

本会場で実施した。

イ すくすく教室(子育て支援教室)

すくすく教室では3～5か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

- ・実施回数 6回
- ・参加者延べ数 41組
- ・内容 離乳食講話、ベビータッチケア、子育て相談、身体計測等

ウ 健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)(数値は、本庁健康増進課で計上)

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、中学校とその保護者を対象に講演会を行った。

対 象	参 加 人 数 (人)	
都賀中学校	生徒 113	保護者 32

オ 親子食育教室

地域子育て支援センターにて未就学児とその保護者に対して、食育講話と試食提供を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加者数 25人(11組)

カ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

- ・実施回数 12回(9か月児健康診査終了後)
- ・参加者延べ数 94組

キ フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と1市1町(栃木市、壬生町)で共催して小学1年生と年長児に対してフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。(年1回)

- ・フッ素塗布者数 (単位:人)

小学1年生	年長児	合計
36	16	52

ク よい歯のコンクール(数値は、本庁健康増進課で一括計上)

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール(3歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は、県

南地区の2次審査に推薦した。

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。個別相談のほか、身体計測、発達チェック及び離乳食やおやつを取り方についてのグループ指導を実施した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 326人（163組）

イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい軽度発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、就学前の年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

(単位：人)

受診数	結果内訳				
	異常なし	要観察	既医療・ 既療育	要精密検査	療育機関等 紹介
58	42	8	2	-	6

ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 5件
- ・指導延べ数 5件

エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

- ・訪問数 81件

オ のびのび相談室

何らかの発達上の問題が疑われた児に対し、心理士による相談指導・育児支援を行った。

- ・実施回数 8回
- ・相談者数 12人

(5) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（都賀地域17人）が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談等を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

(単位：人)

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	事業協力等	合計
件数	75	78	28	181

3 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び健診結果説明会、特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査、後期高齢者診査及びヤング健診(数値は本庁健康増進課で一括計上)

- ・実施回数 10回
- ・実施場所 都賀保健センター

(2) 特定保健指導

ア 初回面接

区分	対象者数(人)	保健指導数(人)	指導率(%)
積極的支援	39	26	66.7
動機付け支援	83	58	69.9
合計	122	84	68.9

イ 中間評価 (初回面接から3か月後)

指導区分	指導数(人)	
	H26年初回面接実施者	H25年初回面接実施者
積極的支援	10	5
動機づけ支援	52	17
合計	62	22

ウ 最終評価 (初回面接から6か月後)

指導区分	指導数(人)	
	H26年初回面接実施者	H25年初回面接実施者
積極的支援	-	8
動機づけ支援	13	32
合計	13	40

(3) メタボ予防講座(特保該当者)

ア 知って納得! からだスッキリ教室(運動編)

メタボリックシンドローム予防や改善のための運動指導を行った。

- ・実施回数 12回
- ・参加延べ人数 6人

イ 知って納得! からだスッキリ教室(栄養編)

メタボリックシンドローム及び糖尿病・脂質異常症予防や改善のための栄養指導を行った。

- ・実施回数 4回

- ・参加延べ人数 1人

4 健康診査事業（健康増進法による健診）

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）を行った。（数値は本庁健康増進課で一括計上）

- ・集団健診実施回数 10回
- ・集団健診実施会場 都賀保健センター

5 結核検診事業

結核を早期に発見し、早期治療を図るため、各会場を巡回し胸部レントゲン検査を医療法人 宇都宮健康クリニックに委託し行った。

- ・実施会場数 24会場
- ・受診者数 323人

6 健康づくり事業

(1) 健康教育

ア 知って納得！からだスッキリ教室（運動編）

メタボリックシンドローム予防や改善のための運動指導を行った。

- ・実施回数 12回
- ・参加延べ人数 174人

イ 知って納得！からだスッキリ教室（栄養編）

メタボリックシンドローム及び糖尿病・脂質異常症予防や改善のための栄養指導を行った。

- ・実施回数 4回
- ・参加延べ人数 46人

ウ 健康あっぷ講座

生活習慣病予防のため、一般市民を対象に栄養改善や運動指導を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加延べ人数 42人

エ 地区別歯周病予防講演会

歯周病予防のため、一般市民を対象に歯科医師による講話と歯科衛生士によるブラッシング指導を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加者数 31人

(2) 健診結果説明会

- ・実施回数 5回
- ・参加者数 29人

(3) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 5回

- ・延べ相談者数 12人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

7 自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、地域の自殺の現状を理解すること及び自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

(1) 普及啓発活動

各種事業時において、自殺予防窓口や自殺予防のための内容を含めたチラシ、パンフレット等の啓発物品を配布した。

8 予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防接種対象者に個人通知により接種勧奨し、各協力医療機関において個別接種を実施した。

BCG、小児肺炎球菌、インフルエンザ菌b型（ヒブ）、三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）、四種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風、不活化ポリオ）、不活化ポリオ、水痘（10～3月）、麻しん風しん（混合）、日本脳炎、二種混合（ジフテリア・破傷風）、子宮頸がん、高齢者インフルエンザ

(2) 任意予防接種

おたふくかぜ、B型肝炎、ロタウイルスワクチン、水痘（4～9月）、小児インフルエンザ、高齢者肺炎球菌ワクチン、風しん予防緊急対策事業を各協力医療機関において希望者に実施した。

9 地域保健対策推進事業

(1) 健康まつり事業

市民の健康増進のため、まるまるまるごとつがまつりが開催された際に健康相談コーナーを実施した。

- ・実施日 11月30日（日）
- ・場 所 都賀保健センター
- ・参加者 歯っぴいコーナー 100人
脱メタボコーナー 90人
減塩味噌汁試飲コーナー 405人

(2) 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導を行った。

- ・訪問世帯数 186世帯
- ・保健師訪問指導 224人（延べ人数）
- ・内訳

（単位：件）

精神保健	13	妊産婦	94	乳幼児	108	生活習慣病	—
------	----	-----	----	-----	-----	-------	---

新生児	5	低体重児	2	他の疾患	-	その他	2
心身障がい	-	結核	-				

10 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml献血(人)	400ml献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
1	13	2	9	-	11	2

11 都賀保健センター利用状況(当課事業及び市関係団体の通年使用を除く。)(単位:人)

区分	会議室	和室	調理室	その他	合計
利用者数	390	210	70	-	670